

技術委員会

建設技術フェア2011 in中部

今年で15回目となる「建設技術フェア2011 in中部」が10月26日と27日の2日間、中部地方整備局中部技術事務所構内特設会場で道路、河川など10分野107の新技术、新工法を展示のほか、東日本大震災関連のパネル展示、又出展技術プレゼンテーション、講演会などが行われました。テーマは、「豊かで安全なくらしと環境の調和をめざして」今回も公共発注機関、建設企業の関係者、建設系学科を専攻する学生や高校生ら約5000人が、建設先端技術に触れようと会場を訪れました。

開会式では、主催者を代表して中部地方整備局の足立敏之局長があいさつに立ち「東日本大震災や台風など多く

の災害に見舞われたが、支援活動ではみなさんに協力していただいた。また、信頼できる道路ネットワーク整備の必要性など、災害から多くの教訓も得た。安心・安全を守るためのインフラ整備を進めていかねばならないが、社会資本の老朽化などさまざまな課題があり、英知を集め解決していかなければいけない。今回の建設技術フェアが大きな役割を果たす場となしてほしい」とあいさつ。また出展者を代表し古厩孝日本建設業連合会中部支部長は「震災などで建設技術の重要性が再認識された。中部地区でも地震・津波対策が求められており、産学官の技術が積極的に導入されることを望む」と述べられました。

そのほか、技術フェアに継続出展している企業団体への感謝状贈呈として20企業に実行委員長を務める佐々木一英 中部地方整備局企画部長より贈られました。

